別 紙

ひびき発電所の概要

発電方式にCO_2排出量が少ない最新鋭のコンバインドサイクル※を採用し、カーボンフリー燃料（水素等）の活用を視野に入れた設備となっております。

このため、本発電所の開発により、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた、九州地域の発電設備の低・脱炭素化を進めることが可能となります。

※ ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせた高効率の発電方式

［発電所の概要］

名称	ひびき発電所
建設予定地	北九州市若松区向洋町（ひびきＬＮＧ基地の隣接地）
開発規模	62万kW×１基
発電方式	ガスタービンコンバインドサイクル方式 （ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせた高効率の発電方式）
燃料	ＬＮＧ（Liquefied Natural Gas：液化天然ガス）
熱効率	約64％（低位発熱量基準）
工事開始	2023年１月（予定）
営業運転開始	2025年度末（予定）

［完成イメージ図］